



なばり

2017年（平成29年）6月25日発行

主 内容

- 1~2……「子どもを守る愛の一声」
- 3~4……市長への手紙
- 6……マイ保育ステーション
- 7……二次救急実施病院
- 8……ひまわり、有料広告

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

広報なばりは、発行日の4〜5日前から順次各戸配布しています。配布についてのお問い合わせは、名張市シルバー人材センター（☎63・6800）へ

約150人の隊員が市内をパトロール 名張少年サポートふれあい隊



名張少年サポートふれあい隊は今年で活動19年目を迎えました。各地域の青少年育成推進員や警察協働員、教職員など、33の団体が構成される名張市青少年育成市民会議のメンバーや青少年補導センター、名張警察署伊賀少年サポートセンターなど、合計約150人で活動しています。

● 主な活動内容

愛の一声運動

警察の行う補導とは違い、非行に走る前の子どもに声を掛けることで、非行の芽を摘み取ることです。

- ・毎月1回市内を10班に分かれ、駅やスーパーなどで声掛けを実施
- ・花火大会や名張秋祭りなどで声掛けを実施



有害環境一掃大作戦

毎年7月に青少年に酒やタバコなどを販売しないよう市内約60店舗に依頼する他、青少年に対して有害な図書を市内4駅で回収

◎ H29年度有害環境一掃大作戦
日時 7月1日(土) 午前10時～正午



子どもを守る 愛の一声

7月は青少年の非行・被害防止全国強調月間

子どもたちの中には、ささいなきっかけから非行に走り、犯罪の被害に遭ったりする場合も少なくありません。そんな子どもを1人でも減らそうと、子どもに対する声掛けなどに取り組む人たちが市内には大勢います。今号では、子どもたちを守るために下校時の見回りや声掛けの活動をしている人たちから話を伺いました。

☎ 文化生涯学習室 ☎ 63・7892

地域全体で子どもたちを見守り、支えていく

名張少年サポートふれあい隊
会長 高田正さん



昔、私がPTAの会長をしていた頃に子どもが事件に巻き込まれたことがあります。この出来事がきっかけで「自分たちの子どもは親である自分たちが守らなければ」と思うようになり、当時の保護者で下校時の見回りをすることになりました。そんな経験を持つ私が、縁あって名張少年サポートふれあい隊の会長に就任しました。その時はまだ見回りの体制も地区ごとでバラバラでしたが、徐々に体制を整え、夜に散歩する子どもたちが非行に走らないよう声掛けをする活動を続けています。時代と共に子どもたちや環境もずいぶんと変わりました。昔は暴力を振るったり喫煙をしましたが、今度は夜に散歩する女の子が増え、不純異性行為などが目立つようになりました。

そして現在、子どもを狙う不審者が問題になっています。私たちの見回りや声掛けも、子どもたちの非行を防ぐという目的以外に、犯罪被害から子どもを守るためという意味合いが強くなってきました。また、家庭でのネグレクト（育児放棄）も近年では問題となり、子どもたちの変化に注意を払うようにもなりました。

時代の変化と共にサポートふれあい隊の役割も変わり、今日は何人の子どものために声を掛けただけではなく、見えないものから子どもたちを守るということの難しさを実感しています。しかしそんな中でも、子どもたちのために、一緒に活動してくれる仲間たちには感謝の言葉しかありません。これからの子どもが非行に走らないように見回りをし、子どもたちへの声掛けを続けていきます。そして、地域全体で子どもたちが犯罪に巻き込まれないように目を光らせ、安心・安全なまちづくりをしていきたいですね。



名張少年サポートふれあい隊はこのベストが目印です

2 ページへ続く